

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

小説の舞台「塩狩峠」を核とした観光振興事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道上川郡和寒町

3 地域再生計画の区域

北海道上川郡和寒町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

和寒町は、北海道の中央よりやや北部に位置し、名寄盆地の最南端、塩狩峠の麓に広がる恵み豊かな町である。道内でも観光客の多い上川地方に所在するが、27年度の観光入込客数は全道で下から5番目と低調であり、近隣の旭川市まで来ている多くの観光客を十分に取り込めていない状況である。

本町に所在する峠を舞台とした作家三浦綾子の小説「塩狩峠」は国内売上が350万部を超え、映画にもなり、小説は世界15ヶ国で翻訳されているが、観光地への結び付けが弱く、その知名度を活かしきれていない。また、各観光施設については、点の取り組みとなっており、観光施設同士を結びつけ線となるような広がりのある体制・環境整備や地域の魅力・情報発信の強化が課題である。

4-2 地方創生として目指す将来像

農業を基幹産業とする町として、作付面積日本一の南瓜や全国的に有名な越冬キャベツの生産地という強み、北海道の農村地域ならではの豊かな自然環境、全国的に有名な「塩狩峠」などの観光資源を活かした産業振興を図り、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある雇用の場を確保する。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
塩狩峠記念館来館者 数(人)	3,100	600	600	700

南丘森林公園来園者数（人）	5,300	100	100	100
訪日外国人宿泊客数（人）	73	27	50	50
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数（人）	0	40	20	20

	KPI増加分の累計
塩狩峠記念館来館者数（人）	1,900
南丘森林公園来園者数（人）	300
訪日外国人宿泊客数（人）	127
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数（人）	80

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

全国的に知名度の高い塩狩峠を観光の核とした周辺整備を進め、和寒町着地型観光推進協議会における魅力の高いツアーの企画・商品化や近辺の「夫婦岩」、「南丘森林公園」といった観光地への人の流れをつくり、魅力ある広範な観光ルートの構築、観光のみならず基幹産業である農業振興や雇用の創出をめざす。

さらに近隣の士別市、剣淵町、幌加内町と広域の着地型観光推進協議会を構成し、「食と観光」によるオンリーワンの観光周遊ルートの策定等、1市3町を核とする道北地域への更なる観光客の誘引を図るとともに、訪日外国人観光客へのプロモーション活動、受入体制整備について、関係団体と連携した取り組みを行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

和寒町

② 事業の名称：

小説の舞台「塩狩峠」を核とした観光振興事業

③ 事業の内容

和寒町着地型観光推進協議会において、H27、H28 に実施した和寒町観光に係るモデルツアーの成果を踏まえ、ツアー客に人気の高い地元農産物のマルシェや農産物の収穫体験などをより充実させ、町の基幹産業である農業・農産物を全面に組み込みながら、参加者にとって魅力の高いツアーを企画・商品化し、観光のみならず基幹産業である農業振興や雇用の創出をめざす。また、ツアー参加者やその他の観光客を惹きつけるには、話題性や知名度のある名所・観光地の存在が重要と考えられることから、全国的に知名度の高い塩狩峠を観光の核とすべく、昨年度立ち上げた「塩狩峠・夫婦岩整備検討委員会」の提案を踏まえた塩狩エリアの整備を進めるほか、同じく昨年度に整備した塩狩峠を出発点としたフットパスコースを活用し、近辺の「夫婦岩」、「南丘森林公園」といった観光地への人の流れをつくり、魅力ある広範な観光ルートを構築する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

H27、H28と実施してきたモニターツアーの積み重ねを踏まえた魅力ある着地型ツアーの企画により販売収入を上げ、和寒町着地型観光推進協議会をベースとした和寒版DMOの立ち上げを目指す。

【官民協働】

和寒町着地型推進協議会を中心に観光商品の企画立案を行い、町において旅行業者や町内関係団体、地元生産者との連絡調整、財政的支援を行う。

【政策間連携】

観光施設やイベントにおける農業団体との連携により、地元農産物のマルシェや新たな農業体験観光コンテンツ作りにより、交流人口の増加と農産物販売促進を図る。

【地域間連携】

地域資源を活かした魅力ある観光地づくりには、単独自治体の取り組みだけでは限りがあることから、H28年7月に設置した近隣の1市3町の観光協会等で構成する、広域の「士別・和寒・剣淵・幌加

内着地型推進協議会」の取り組みを進め、各自治体が先導的・重点的に取り組む観光メニューを集めて提供することにより地域全体として魅力を発信していく。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
塩狩峠記念館来館者数 (人)	3,100	600	600	700
南丘森林公園来園者数 (人)	5,300	100	100	100
訪日外国人宿泊客数 (人)	73	27	50	50
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数 (人)	0	40	20	20

	KPI増加分の累計
塩狩峠記念館来館者数 (人)	1,900
南丘森林公園来園者数 (人)	300
訪日外国人宿泊客数 (人)	127
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数 (人)	80

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

庁内横断組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生庁内プロジェクトチーム」により進捗状況の点検、効果の検証を行った後、外部組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生町民会議」において検証の上、必要に応じて見直しを行う。また、町民会議で不十分な分野は、関係機関を地方創生アドバイザーと位置付け、効果検証、総合戦略の見直しにあたり意見照会、提言をいただく。

【外部組織の参画者】

産：JA北ひびき、JA北ひびき青年部、商工会、商工青年部、商工女性部、観光協会

官：和寒町、北海道上川総合振興局（オブザーバー）

学：体育協会、文化団体連絡協議会、青少年育成町民会議、酪農学園大学教育センター（アドバイザー）

金：北星信用金庫和寒支店（アドバイザー）、北海道銀行士別支店（アドバイザー）

労：農民連盟、社会福祉協議会、子ども会育成連絡会議、老人クラブ連合会、女性ネットワーク、連合北海道和寒地区連合会（アドバイザー）

言：北海道新聞、北都新聞、道北日報各社（アドバイザー）

【検証結果の公表の方法】

検証後、速やかに町のホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 34,828千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 士別・剣淵・和寒・幌加内着地型観光推進協議会事業

事業概要：地域資源を活かした魅力ある観光地づくりには、単独自治体の取り組みだけでは限りがあることから、地域として一体的な取り組みを進めるため、近隣の士別市、剣淵町、幌加内町と広域の着地型観光推進協議会を構成し、「食と観光」によるオンリーワンの観光周遊ルートの策定、プロモーション活動・道内外 PR などを実施し、1市3町を核とする道北地域への更なる観光客の誘引を図るとともに、台湾・タイなどの訪日外国人観光客へのプロモーション活動、受入体制整備について、関係団体と連携した取り組みを行う。

実施主体：士別・剣淵・和寒・幌加内着地型観光推進協議会

事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

庁内横断組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生庁内プロジェクトチーム」により進捗状況の点検、効果の検証を行った後、外部組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生町民会議」において検証の上、必要に応じて見直しを行う。また、町民会議で不十分な分野は、関係機関を地方創生アドバイザーと位置付け、効果検証、総合戦略の見直しにあたり意見照会、提言をいただく。

【外部組織の参画者】

産：JA北ひびき、JA北ひびき青年部、商工会、商工青年部、商工女性部、観光協会

官：和寒町、北海道上川総合振興局（オブザーバー）

学：体育協会、文化団体連絡協議会、青少年育成町民会議、酪農学園大学教育センター（アドバイザー）

金：北星信用金庫和寒支店（アドバイザー）、北海道銀行士別支店（アドバイザー）

労：農民連盟、社会福祉協議会、子ども会育成連絡会議、老人クラブ連合会、女性ネットワーク、連合北海道和寒地区連合会（アドバイザー）

言：北海道新聞、北都新聞、道北日報各社（アドバイザー）

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
塩狩峠記念館来館者数（人）	3,100	600	600	700
南丘森林公園来園者数（人）	5,300	100	100	100
訪日外国人宿泊客数（人）	73	27	50	50
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数（人）	0	40	20	20

	KPI増加分の累計
塩狩峠記念館来館者数（人）	1,900
南丘森林公園来園者数（人）	300
訪日外国人宿泊客数（人）	127
和寒町着地型観光推進協議会が企画するツアーへの参加者数（人）	80

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、検証後、速やかに町のホームページで公表を行う。